

にほんご

日本語4

Japanese 4

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語4 (総合)
担当者	中原・齋藤・大森
単位数	3単位
授業数	週3回

1. 授業の概要・到達目標

【授業の概要】

この授業は、初級レベルの学習が終わった学習者が勉強するクラスです。初級で学んだ文法や語彙・漢字を正しく使えること、そして、日本語の「読む・書く・話す・聞く」力をバランスよく高め、自信を持って日本語でコミュニケーションできることを目指します。CEFRのB1.1くらいの日本語レベルを目指します。教科書は『中級日本語とびら』です。各課のテーマは日本文化や日本の社会ですから、授業でも日本文化と自分の文化を比較し、違いを述べたり、自分の文化について説明したりします。日本語の知識や文法を学ぶだけではなく、日本文化や同じクラスの留学生の国や文化についても学び、自分の意見や感想を伝えられるように取り組みましょう。授業は、日本語で行い、3人の教員が担当します。

【到達目標】

1. 日本や日本文化について書かれた文章を読んで、理解することができる。
2. 自分の国についてまとめて話したり、日本と比較し、違いや自分の考えをまとめて話すことができる。
3. 教科書で学んだ語彙・漢字や文法を、理解し、使うことができる。また、初級レベルの語彙・漢字・文法の間違いを自分で直して、使えるようになる。

2. 授業内容

【授業の進め方 (予定)】

第1回：a. イントロダクション (授業についての説明) / b. 第1課『日本の名所や名物をもっと知ろう』

第2-6回：第1課『日本の名所や名物をもっと知ろう』

第7-11回：第2課『私の日本語は大丈夫?』

第12回：復習

第13回：a. 復習テスト (第1回) / b. 第3課『日本のかわいいAIロボット』

第14-18回：第3課『日本のかわいいAIロボット』

第19回：フィールドワーク

第20回：第3課『日本のかわいいAIロボット』

第21-25回：第4課『武道の心とスポーツ』

第26回：復習

第27回：a. 復習テスト (第2回) / b. 第5課『世界に広がる日本の味』

第28-33回：第5課『世界に広がる日本の味』

第34-39回：第6課『年中行事や週間から日本を考えよう』

第40回：復習、プロジェクト①

第41回：a. 復習テスト (第3回) / b. プロジェクト②

第42回：プロジェクト③ / 振り返り

◆授業のスケジュールは、第1回目のイントロダクションで説明します。

◆授業では、ペアやグループで勉強することがあります。日本語で話せるようになるために、授業では日本語で話す活動がたくさんあります。

◆一人またはグループでするプレゼンテーションが、学期の最後に1回あります。

3. 履修上の注意

- ・この科目はプレースメントテストの結果、日本語4レベルにプレースされた人が履修できます。
- ・週3回の授業すべてに出席しなければなりません。

4. 準備学習（予習・復習等）の内容

- ◆授業がよくわかるように、予習と復習をしてください。
- ◆予習と復習は30分～1時間くらい必要です。
- ・予習：①各課にある「できるCheck」と「この課に入る前にやってみよう」は予習です。授業の前に自分でやってから、授業に参加してください。
 - ②進行表を見て、学習内容のページの単語の意味や読み方を調べてください。
 - ③小テストの準備をする。
- ・復習：宿題をする。その回に勉強した文法や語彙をもう一度勉強する。
 - 復習にはQuizletや補足の文法シートを使ってください。
- ◆『中級日本語とびら』のWEBサイトからは、教科書の音声^{きょうかしよ おんせい むりよう}が無料でダウンロードできます。日本語の会話をたくさんきいて、勉強^{べんきよう}しましょう。
 - 中級日本語とびらサイト：<https://tobiraweb.9640.jp/tobira-intermediate/>
- ◆漢字の読み方や言葉の意味を勉強するためにQuizletを使ってください。

5. 教科書

- ◆『中級日本語とびら』, 岡まゆみ 他著, (くろしお出版)
978-4-8011-1018-2 C0081, 2,860円 (税込み)

6. 参考書

- ・授業の時、紹介します。

7. 課題に対するフィードバックの方法

- ・クイズ、宿題、テスト等のフィードバックは、実施方法によって、Oh-o!meiji を使ったり、授業中にフィードバックをしたりします。

8. 成績評価の方法

- ◆評価対象と割合 (Grading and Evaluation)
 - ・復習テスト<3回>50% ・発表 10%
 - ・平常点<小テスト, 課題の提出, 授業への取り組み> 40%
- ※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

9. その他

- ◆授業では、生活のためのコミュニケーション能力だけでなく、大学で勉強するための読解能力や語彙・表現能力なども勉強します。
- ◆日本語能力試験 (JLPT) にもチャレンジしましょう。
- ◆授業のスケジュールや内容は、学生の人数や興味関心などで変わることがあります。
- ◆この授業では、フィールドワークやその準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語4 (読解)
担当者	山森 理恵
単位数	1単位
授業数	週1回

1. 授業の概要・到達目標

【概要】

日本語レベル CEFR A2.2 相当の学生対象、CEFR B1.1 相当を目標とし、読解を中心に進めていく授業です。日本の食、芸術、文学、環境問題、先端科学技術などの様々なトピックスの読み物を読みます。これらの読み物を楽しみながら、クラスで意見交換をしていきます。

【到達目標】

1. 日本に関する読み物について、初級で学んだ文型・語彙が使われたある程度まとまった内容の文章を読み、理解することができる。
2. 様々なトピックスの読み物を通して、視野を広げ、考えを深めていくことができる。
3. 読み物に関しての意見や感想を日本語で表現し、クラスメイトに伝えることができる。

2. 授業内容

- 第1回：イントロダクション、自分の好きな本について紹介する
- 第2回：Chapter1 Lesson1 「たすきをつなぐ」
- 第3回：Chapter2 Lesson1 「もったいない」
- 第4回：Chapter3 Lesson1 「今年の漢字」
- 第5回：Chapter4 Lesson1 「マンガから未来が見える」
- 第6回：Chapter1 Lesson2 「同じ金の飯」
- 第7回：Chapter3 Lesson2 「虫の声？ 虫の音？」、漢字練習1
- 第8回：Chapter4 Lesson2 「無限に遊ぶ」
- 第9回：Chapter5 Lesson2 「森は生きている」
- 第10回：Chapter1 Lesson3 「オバマ イン ヒロシマ」
- 第11回：Chapter2 Lesson3 「奇跡の一本松」
- 第12回：Chapter3 Lesson3 「人生は旅」、漢字練習2
- 第13回：Chapter4 Lesson3 「お化けはこわい？」
- 第14回：全体の振り返り

3. 履修上の注意

- ・プレースメント試験の結果、日本語4のレベルにプレイスされている学生が履修できます。
- ・全ての授業でペアやグループワークを中心に進めていくので、積極的に取り組むことを期待します。

4. 準備学習（予習・復習等）の内容

- ・授業前に予習課題があります。
- ・授業内の読み物に関する内容や感想を書いて提出してもらいます。

5. 教科書

『Reading Road 多様な日本を読む』公益社団法人 国際日本語普及協会 (AJALT) 著 (くろしお出版) 2019年

6. 参考書

必要があれば、授業時に紹介します。

7. 課題に対するフィードバックの方法

授業後の感想は、一人一人にフィードバックします。

8. 成績評価の方法

予習課題：30% 授業内課題：50% 平常点（授業への参加度、貢献度）：20%

※この授業の評価を得るためには、出席が2/3以上の出席が必要です。

9. その他

- ・授業のスケジュールおよび内容は、変更の可能性があります。
- ・この授業は、「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークやその準備をする可能性があります。より深く日本や日本語を理解する貴重な機会として、積極的に取り組んでください。

科目番号	(JE) LAN981J
科目名	日本語4 (口頭表現)
担当者	齋藤 恵
単位数	1単位
授業数	週1回

1. 授業の概要・到達目標

【概要】

この授業は、初級レベルの日本語学習を終え、さらに日本語の話す・聞く力を高めたい人のためのクラスです。スピーチ、ディスカッションなど「話す」活動を行います。また、コースを通じた活動として、動画コンテンツを視聴し、日本で生活する日本語学習者が直面する言葉や文化に関する課題や、それに関する有効なストラテジーについてディスカッションしたり、練習したりします。これらに関連して、関連資料を読んだり、話すためのメモを書いたり、スピーチで使うスライドを作る作業をすることもあります。基本的にこの授業は日本語で行います。

【到達目標】

・自分に関係のある話題(国、習慣、文化、興味があることなど)について、準備して、事実、意見、感想、についてまとめて話すことができる。

・日常生活場面で、コミュニケーションストラテジーを使いながら日本語でやりとりができる。

2. 授業内容

第1回：イントロダクション、アイスブレイク(自己紹介)

第2回：自己紹介・自己PR(発表) / 「ひきだす日本語」*

第3回：交流1(アイスブレイク、自己紹介) **

第4回：日本文化体験計画①(調べる)

第5回：日本文化体験計画②(まとめる)

第6回：日本文化体験計画③(発表)

第7回：交流2(ディスカッション)**

第8回：音楽について聞く・話す

第9回：漫画やドラマについて聞く・話す

第10回：交流3(ディスカッション)**

第11回：私のことスピーチ① トピック選び

第12回：私のことスピーチ② 説明の工夫、個別相談

第13回：私のことスピーチ③ 発表

第14回：ふりかえり、自己評価

* 上記の内容に合わせて、第2回以降は常活動として、動画「ひきだす日本語」コンテンツを見て、ディスカッションしたり、会話練習をしたりする活動を継続して行います。

** 交流1、2、3(*)では、日本語母語話者の学生との会話交流を予定しています。

3. 履修上の注意

- ・プレイスメント試験の結果、日本語4のレベルにプレイスされている学生が履修できます。
- ・日本語で話す力を高めるための授業ですので、クラスの話す活動に参加し、発言することを求めます。
- ・ペアやグループで、日本語で話す時間が毎回必ずあります。
- ・スピーチの発表が少なくとも3回あります。
- ・特別な理由がない限り、休まないでください。やむを得ず欠席する場合は、必ず、e-mailに連絡してください。また、Oh-o!Meiji等で当日の課題を確認し、次の授業までに取り組むようにしてください。

4. 準備学習（予習・復習等）の内容

◆復習：動画視聴や会話交流の振り返りレポートを作成し、Oh-o!Meiji に提出してください。（授業で指示します）

また、動画教材を見返したり、話したりする練習をしてください。

◆スピーチの準備が授業時間内に終わらない場合は、授業時間外に行う必要があります。

5. 教科書

ハンドアウトを配布します。資料を整理するファイルを用意してください。

6. 参考書

ウェブサイト「ひきだすにほんご Activate Your Japanese! コンテンツライブラリー (<https://www.hikidasu.jp/>)」を活用します。

他に参考書がある場合は、必要に応じて授業で紹介いたします。

7. 課題に対するフィードバックの方法

フィードバックは、課題の内容に応じて、Oh-o!Meiji を利用する場合と、教室で行う場合があります。

スピーチ課題については評価項目を事前に示し、それに従って評価した結果を、Oh-o!Meiji で送ります。

8. 成績評価の方法

以下の2項目に基づき総合的に判断します。試験はありません。

- ・平常点（授業での取り組み・提出課題）40%
- ・発表（3回のスピーチ発表など）60%
- ・この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

9. その他

・授業のスケジュールおよび内容は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。

内容およびスケジュールの変更については、授業内で説明するほか、シラバスの補足でもお知らせします。

・この授業では、「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

・授業では、Oh-o!Meiji を使用して、連絡や課題提示、課題提出、フィードバックをします。使えるように準備してください。連絡の転送設定もしておいてください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語4 (文章表現)
担当者	中原 なおみ
単位数	1単位
授業数	週1回

1. 授業の概要・到達目標

【授業の概要】

- ・初級文型の学習を終えたレベルの学生が対象です。
- ・自分自身のことや自分に関係のある話題（自分の国、習慣、文化、興味のあることなど）について、初級で勉強した「ことば」や「表現・文法」を使って文章を書きます。
- ・まず、話しことばと書きことばの違いを勉強します。それから、わかりやすい構成の説明文や、意見文を書きます。
- ・授業では毎回、ペアワークやグループディスカッションを行い、文章の内容や構成、表現などについて考えるための活動を行います。

【到達目標】

1. 自分自身のことや、身近な話題について、400～600字程度のまとまった文章を書くことができる。
2. 初級で学んだ「ことば」や「表現・文法」を正確に使い、「話しことば」と「書きことば」のルールを守って、読みやすい構成の作文が書ける。
3. 自分の意見や感想を、その「理由」や「根拠」とともに論理的に説明できる。
4. 客観的な事実や情報を整理して、相手にわかりやすく伝える説明文を書くことができる。

2. 授業内容

- 第1回：イントロダクション・授業内作文 与えられたテーマで作文を書く
- 第2回：課題のフィードバック（ペア・グループ活動）
- 第3回：テーマ①文体と書きことば 練習（ペア・グループ活動）
- 第4回：テーマ①文体と書きことば アイディア整理／作文のルール1（ペア・グループ活動）
- 第5回：テーマ①文体と書きことば フィードバック／書き直し（ペア・グループ活動）
- 第6回：テーマ②説明文 アイディア整理／作文のルール2（ペア・グループ活動）
- 第7回：テーマ②説明文 フィードバック／書き直し（ペア・グループ活動）
- 第8回：テーマ③順番に説明する アイディア整理／作文のルール3（ペア・グループ活動）
- 第9回：テーマ③順番に説明する フィードバック／書き直し（ペア・グループ活動）
- 第10回：テーマ④比較して書く アイディア整理／作文のルール4（ペア・グループ活動）
- 第11回：テーマ④比較して書く フィードバック／書き直し（ペア・グループ活動）
- 第12回：テーマ⑤論理的に書く アイディア整理／作文のルール5（ペア・グループ活動）
- 第13回：テーマ⑤論理的に書く フィードバック／書き直し（ペア・グループ活動）
- 第14回：作文の発表・コースのまとめ

3. 履修上の注意

- ・この科目はプレースメントテストの結果、日本語4レベルにプレースされた人が履修できます。
- ・作文を書く宿題があります。宿題の提出日を守ってください。
- ・授業では、書いた作文について意見交換や発表も行っているので、これらの活動にも積極的に取り組みましょう。

4. 準備学習（予習・復習等）の内容

- ・ 作文を書いた後は、フィードバックをしっかりと見て書き直してください。
- ・ フィードバックや、自分が書いた作文のデータはしっかりと管理してください。

5. 教科書

- ・ 『おしゃべりしながら書くことを楽しむ中級作文』、杉浦千里・木戸光子、(凡人社) ISBN987-4-89358-978-1

6. 参考書

- ・ 授業の時に、必要に応じて紹介します。

7. 課題に対するフィードバックの方法

- ・ 授業内での説明または Oh-o! Meiji を使ってフィードバックを行います。
- ・ それぞれの課題のフィードバック方法は課題を出したときに説明します。

8. 成績評価の方法

- ・ 提出課題（内容・構成・正確さ・書きことばの使用） 70%
- ・ 平常点（授業への取り組み・ペア、グループ活動への貢献・修正への取り組み）…30%
- ・ この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

9. その他

- ・ 授業のスケジュールおよび内容は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。
- ・ この授業では、「日本語（総合）」の授業と合わせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

にほんご

日本語5

Japanese 5

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語5 (総合)
担当者	坂井・河野・飯島
単位数	3単位
授業数	週3回

1. 授業の概要・到達目標

【授業の概要】

この授業は、中級レベルの日本語を学ぶ学生を対象にしています。これまで学んできた文法や語彙を適切に使い、さらにより高度な日本語を理解し、使い、自ら学びつづけられような力を養います。CEFRのB1.2相当の日本語レベルを目指します。日本社会や文化、世界的な問題をテーマとした教科書(『上級へのとびら』の後半部分)を使って、日本語の運用能力、および、より一般的・専門的な語彙や中級レベルの文法の運用力を総合的に高めます。授業ではテーマに沿ったディスカッションや発表なども行います。積極的に自分の意見を述べ、これまで学んだ日本語を自信をもって活用できるように取り組んでください。また、日本語学習に取り組むだけではなく、日本文化・社会、そして同じクラスの留学生の国や文化・社会に興味を持ち、多様な文化や社会に関する知識も深めてください。授業は日本語で行い、3人の教員が担当します。

【到達目標】

- 日本文化や日本社会・国際社会について書かれた長い文章を読んで、理解することができる。
- 読んだ内容について自分の国や文化と比較しながら、自分の考えを話すことができる。
- N3～2レベルの語彙や文法を学び、理解し、適切に使うことができる。また、自分の語彙や文法の間違いを自分で直せる。

2. 授業内容

【授業の進め方】

第1回：a. イントロダクション(授業についての説明) / b. 第8課『日本の伝統芸能』

第2-6回：第8課『日本の伝統芸能』

第7-11回：第9課『日本の教育』

第12回：復習

第13回：a. 復習テスト(第1回) / b. クラス活動

第14-17回：第10課『日本の便利な店』

第18回：フィールドワーク

第19-20回：第10課『日本の便利な店』

第21-26回：第11課『日本の歴史』

第27回：a. 復習テスト(第2回) / b. クラス活動

第28-33回：第13課『日本人と自然』

第34-40回：第15課『世界と私の国の未来』

第41回：a. 復習テスト(第3回) / b. 総復習

第42回：ふりかえり/クラス活動

◆授業の詳しいスケジュールは、第1回目のイントロダクションで説明します。

◆各課の最後に、課のテーマに関係のある発表や、作品作りがあります。

◆学期の最後にプレゼンテーションがあります。

◆この授業では日本語で話す活動が多く行われ、ペアやグループで話す活動が毎回の授業であります。

3. 履修上の注意

- この科目はプレースメントテストの結果、日本語5レベルにプレースされた人が履修できます。

- ・週3回の授業すべてに出席しなければなりません。

4. 準備学習（予習・復習等）の内容

- ◆効果的に学習を進めるために、予習復習を十分に行ってください。
- ◆予習：毎回30分～1時間 進行表を見て、学習内容のページの単語の意味や読み方を調べる。
重要表現、文法・語彙練習の説明と例文を読む。小テストの準備をする。
- ◆復習：毎回30分～1時間 その回に指示された宿題や文法プリントの記入。学習項目の整理。
- ◆教科書付属のWEBサイト上の教材を活用し、自律的に学習を進めてください。
上級へのとびらサイト：<http://tobiraweb.9640.jp/>

5. 教科書

- ◆『コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語 上級へのとびら』、岡まゆみ 他著、（くろしお出版）
978-4-87424-447-0 C0081, 3, 630円（税込み）

6. 参考書

- 必要があれば、授業の時に紹介します。
- 教科書には副教材もあります。こちらも参考にしてください。
- 『上級へのとびら きたえよう漢字力 上級へつなげる基礎漢字800』、岡まゆみ 監修、（くろしお出版）
978-4-87424-487-6 C0081, 2, 420円（税込）
- 『上級へのとびら これで身につく文法力』、筒井通雄 監修、（くろしお出版）
978-4-87424-570-5 C0081, 2, 420円（税込）

7. 課題に対するフィードバックの方法

クイズ、宿題、テスト等のフィードバックは、実施方法によって、Oh-o!meiji 上もしくは、授業中のフィードバックを行います。

8. 成績評価の方法

- ◆評価対象と割合
 - ・復習テスト（3回）60%
 - ・平常点（小テスト、課題の提出、授業への取り組み）40%
- ※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

9. その他

- ◆授業では、日常的なコミュニケーション能力だけでなく、大学での勉学に必要な読解能力や語彙・表現能力などを重視します。
- ◆より高いレベルの日本語能力試験の受験・合格も目指しましょう。
- ◆授業のスケジュールおよび内容は、学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。
- ◆この授業では、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語5 (読解)
担当者	坂井 菜緒
単位数	1単位
授業数	週1回

1. 授業の概要・到達目標

【概要】

本クラスは、中級前半の学生を対象にし、日本語学習の中でも特に文章の読み方（読解）のスキルを身につけるために、段階的に効果的な訓練を行います。特に、スキミング練習（情報取り）とスキミング練習（大意取り）の技術や、文章を予測・推測しながら読む力をつけるための練習を行います。ただ読むだけでなく、読む速度を早くして、あわせて読解力も高められるように学習を進めます。また、クラスでは、漢字・語彙・文法表現なども確認していきます。

【到達目標】

身近な場面に必要な日本語の「読み」からアカデミックな文章の「読解」へとつながる力を身につけることができる。
初級レベルの漢字・語彙・文法表現を復習しながら、さまざまな文章を読むためのスキルを身につけ、ある程度速度を上げて読めるようになる。

2. 授業内容

第1回：イントロダクション

最新の記事を読む (1) 漢字・語彙・内容の確認 —やさしいことばニュース→ NHK NEWSWEB ニュース

第2回：前回の漢字クイズ

最新の記事を読む (2) 漢字・語彙・内容の確認 —やさしいことばニュース

スキミング練習1

第3回：前回の漢字クイズ

最新の記事を読む (3) 漢字・語彙・内容の確認 —やさしいことばニュース

スキミング練習2

第4回：前回の漢字クイズ

最新の記事を読む (4) 漢字・語彙・内容の確認 —やさしいことばニュース

スキミング練習3

第5回：前回の漢字クイズ

最新の記事を読む (5) 漢字・語彙・内容の確認 —やさしい日本語ニュース→ NHK NEWSWEB ニュース

第6回：前回の漢字クイズ

最新の記事を読む (6) 漢字・語彙・内容の確認 —やさしいことばニュース

スキミング練習1

第7回：前回の漢字クイズ

最新の記事を読む (7) 漢字・語彙・内容の確認 —やさしいことばニュース

スキミング練習2

第8回：前回の漢字クイズ

最新の記事を読む (8) 漢字・語彙・内容の確認 —やさしいことばニュース

スキミング練習3

第9回：前回の漢字クイズ

最新の記事を読む (9) 漢字・語彙・内容の確認 —やさしいことばニュース

スキミング練習4

だい かい ぜんかい かんじ
第10回：前回の漢字クイズ

どっかいおうようれんしゅう
読解応用練習 1

だい かい ぜんかい かんじ
第11回：前回の漢字クイズ

どっかいおうようれんしゅう
読解応用練習 2

だい かい ぜんかい かんじ
第12回：前回の漢字クイズ

どっかいおうようれんしゅう
読解応用練習 3

わたし すす ぶん しょうかい じゅんび
私のお勧めの文 紹介 準備1

だい かい きまつしけん わたし ぶん しょうかい じゅんび はっぴょう
第13回：期末試験・私のお勧めの文 紹介準備2（発表リハーサル）

だい かい きまつしけん フィードバック わたし すす ぶん しょうかい はっぴょう
第14回：期末試験フィードバック・私のお勧めの文 紹介（発表）・ふりかえり

3. 履修上の注意

- ・プレースメント試験の結果、日本語5のレベルにプレースされている学生が履修できます。
- ・積極的に授業に参加すること。
- ・クラスでは、新聞記事、ネット記事、エッセーなどを読むので、辞書を持ってきてください。
- ・クラス内では、ペア活動やグループ活動もあります。

4. 準備学習（予習・復習等）の内容

- ・授業後は、きちんと復習してください。前回勉強した内容から毎回クイズがあるので、必ず準備すること。
- ・各読み物の読解が終わった後は、漢字などの課題を出します。（約30分～1時間相当）

5. 教科書

とく
特になし（ハンドアウト配布）

6. 参考書

- ・『中・上級の為の速読の日本語 [第2版]』岡まゆみ著（The Japan times）2019年

7. 課題に対するフィードバックの方法

かくかだい
各課題のフィードバックは、実施後、授業内または Oh-o ! Meiji にて行います。

8. 成績評価の方法

しょう くだい
小テスト・課題（50%） 小テストは、毎回授業開始時に実施。

きまつしけん じゅぎょう さんかど へいじょうてん
期末試験（30%）、授業への参加度および平常点（20%）

※この授業の単位を取るためには、2/3以上の出席が必要です。（遅刻・早退は30分まで。それ以上は欠席扱い。）

9. その他

- ・授業のスケジュールおよび内容は、履修学生の人数、レベル、理解、興味関心などにより変わることがあります。
 - ・基本的には、全出席前提で授業をします。なるべく遅刻・欠席はしないようにしてください。
- もし遅刻・欠席したときは、自分で次のクラスまで何をすべきかを確認し、準備して出席してください。
- ・この授業では、「日本語5（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。
- より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語5 (口頭表現)
担当者	飯島 ひとみ
単位数	1単位
授業数	週1回
<p>1. 授業の概要・到達目標</p> <p>【概要】</p> <p>中級前半レベルの学生を対象として、口頭表現力の向上を目指します。身近な話題、自分の専門分野や興味のある話題について、スピーチやディスカッションをします。また、日本人学生に複数回参加してもらい、実践的な会話練習をします。</p> <p>【到達目標】</p> <p>1. 一般的な話題や自分の専門分野等について、準備をして、事実や意見とその理由等をまとまりのある談話で話すことができるようになる</p> <p>2. 発話をモニタリング、修正しながら日常的な会話ができるようになる</p>	
<p>2. 授業内容</p> <p>第1回：イントロダクション、「自己紹介」の準備</p> <p>第2回：「自己紹介」実践 (日本人ボランティアとペア、またはグループで活動)</p> <p>第3回：「活動」全体の準備</p> <p>第4回：「活動①」の準備</p> <p>第5回：「活動①」実践(1) (日本人ボランティアとペア、またはグループで活動)</p> <p>第6回：「活動①」実践(2) (日本人ボランティアとペア、またはグループで活動)</p> <p>第7回：「活動②」準備(1)</p> <p>第8回：「活動②」準備(2) (日本人ボランティアとペア、またはグループで活動)</p> <p>第9回：「活動②」実践(1) (日本人ボランティアとペア、またはグループで活動)</p> <p>第10回：「活動②」実践(2) (日本人ボランティアとペア、またはグループで活動)</p> <p>第11回：「活動③」準備(1)</p> <p>第12回：「活動③」準備(2) (日本人ボランティアとペア、またはグループで活動)</p> <p>第13回：「活動③」実践(1) (日本人ボランティアとペア、またはグループで活動)</p> <p>第14回：「活動③」実践(2) (日本人ボランティアとペア、またはグループで活動)</p> <p>*活動①、②、③は、第1回の授業のときに、「インタビュー」「プレゼンテーション」「スピーチ」「ディスカッション」などの中から、人数、日本語の理解度、学生の希望などに応じて決めます。</p>	
<p>3. 履修上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレイスメント試験の結果、日本語5のレベルにプレイスされている学生が履修できます。 ・日本人学生の参加を9回予定しています。初対面の人と話すことが多くなるかもしれませんが、積極的に参加してください。 ・自分の発話をスマートフォンなどで録音・録画して、振り返りをするもあります。 ・授業を欠席するときは必ず教師に連絡をして、次回までにしておくことの指示を受けてください。 	
<p>4. 準備学習 (予習・復習等) の内容</p> <p>次回の準備のための課題と、実践を振り返るための課題を出します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習・準備：スピーチやプレゼンテーションなどの準備として、スクリプトを書いたりスライドを作ったりする。 ・復習：発話の録音を聞いたり、振り返りシートを書いたりする。 	

5. 教科書

教科書はありません。プリント教材を配布します。

6. 参考書

『中級日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』、黒崎典子編著、(凡人社)

7. 課題に対するフィードバックの方法

原則、教室でフィードバックをしますが、日程の都合で Oh-o!Meiji でフィードバックすることもあります。

8. 成績評価の方法

- 活動(「スピーチ」「プレゼンテーション」など)の実践評価: 50%
 - 平常点(課題の提出、授業への取り組み): 50%
- * この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

9. その他

- 授業のスケジュールおよび内容は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。
- この授業では、「日本語(総合)」の授業と合わせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語5 (文章表現)
担当者	河野 多佳子
単位数	1単位
授業数	週1回
<p>1. 授業の概要・到達目標</p> <p>中級レベルの学生が、文体や構成を考えながら書く能力を身に付けます。授業では書く前にテーマについて話し合う時間を設け、意見をまとめ、構成を考えます。書いた作文は翌週に授業時間内で発表し、その内容について質問や感想を受けます。テーマは自分自身に関係のあるものから一般的、専門的な話題まで扱います。</p> <p>【到達目標】</p> <p>日本語でまとまった量(600~800字程度)の作文が書けるように練習します。意見文などの論理的な文章について、わかりやすい構成を考え、読む人が理解しやすい文章を書くのを目標にします。各テーマに合った文章の表現についても学びます。</p>	
<p>2. 授業内容</p> <p>第1回：イントロダクション 自己紹介文を書こう 発表</p> <p>第2回：体験文1 「子どものころの私」</p> <p>第3回：体験文1 口頭発表 フィードバック 課題</p> <p>第4回：体験文2 「日本に来て大変だったこと」</p> <p>第5回：体験文2 口頭発表 フィードバック 課題</p> <p>第6回：情報文1 「日本のおすすめの場所」(または「明治大学から歩いて10分以内にあるおすすめの場所」)</p> <p>第7回：情報文1 口頭発表(プレゼンテーション) フィードバック 課題</p> <p>第8回：情報文2 「おすすめの映画」</p> <p>第9回：情報文2 口頭発表 フィードバック 課題</p> <p>第10回：状況をもとにした意見文 「私の外国語学習方法」</p> <p>第11回：状況をもとにした意見文 口頭発表 フィードバック 課題</p> <p>第12回：テーマに沿った意見文 「私の異文化体験」</p> <p>第13回：テーマに沿った意見文 リライト</p> <p>第14回：テーマに沿った意見文 口頭発表 フィードバック まとめ等</p> <p>テーマごとに1回グループワークがある</p>	
<p>3. 履修上の注意</p> <p>・プレイスメント試験の結果、日本語5のレベルにプレイスされている学生が履修できます。</p>	
<p>4. 準備学習(予習・復習等)の内容</p> <p>毎回のテーマに沿った文章を書いてください。直された作文は必ず見て、確認してください。また、授業中に文章の表現を学ぶための課題をしてください。</p>	
<p>5. 教科書</p> <p>プリント教材を配布します。</p>	
<p>6. 参考書</p> <p>必要に応じて資料を配布します。</p>	

7. 課題に対するフィードバックの方法

作文の課題を提出してください。間違えたところをハイライトして返します。文法、表記の間違いを直して再提出してください。

8. 成績評価の方法

作文提出（70%）、平常点（普通の授業での活動、課題）（30%）により評価します。出席が2/3以上でなければ評価は出しません。

9. その他

授業のスケジュールは、人数によって変更することがあります。この授業は対面授業の場合、「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークやその準備を含みます。より深く日本や日本語を理解する貴重な機会として、積極的に取り組んでください。

にほんご

日本語6

Japanese 6

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語6 (総合)
担当者	梅津・許・大政
単位数	3単位
授業数	週3回

1. 授業の概要・到達目標

【授業の概要】

この授業は、中級後半レベルの学生を対象にしています。教科書『生きた素材で学ぶ新・中級から上級への日本語』の自然な日本語で書かれた様々なテーマの文章を題材に、日本語での話す・書く・読む・聞くの能力、語彙や文法の運用力を総合的に高めます。CEFRのB1.2相当で、その中でも特に高いレベルの日本語力を目指します。授業は3人の教員が担当します。

【到達目標】

1. 言語のコントロールの少ない、一般的・社会的な話題の文章を読んで、筆者の意見を理解し、文章の流れや要点が理解できる。
2. 読んだ文章に対する自分の意見や考えを、まとまりのある談話で、適切な文法や語彙を使って述べられる。
3. テーマに関わる文型・表現・語彙を学び、理解し、使うことができる。また、言い換えをしたり、自分の語彙や文法の間違いを自分で直したりすることができる。

2. 授業内容

【授業の進め方】

第1回：イントロダクション（授業についての説明）

第2-6回：ユニット1「自己紹介と本当の自分」

第7-12回：ユニット4「ことばと文化」

第13回：復習

第14回：a. 復習テスト（第1回）／b. クラス活動

第15-20回：ユニット6「働くということ」（インタビュー活動）

第21-26回：ユニット7「日本語の多様性」

第27回：復習

第28回：a. 復習テスト（第2回）／b. クラス活動

第29-34回：ユニット9「食の共同性」

第35-40回：ユニット10「笑いのちから」

第41回：復習

第42回：a. 復習テスト（第3回）／b. クラス活動

◆授業の詳しいスケジュールは、第1回目のイントロダクションで説明します。

◆授業のスケジュールは、変更する場合があります。

◆この授業では、ほぼ毎回、ペアやグループでの活動（ディスカッション、学び合い）があります。

◆日本人へのインタビュー活動があります（ユニット6）

◆授業中には、日本語で発言することが多く求められます。積極的に日本語を使ってください。

3. 履修上の注意

・この科目はプレースメントテストの結果、日本語6レベルにプレースされた人が履修できます。

・週3回の授業すべてに出席しなければなりません。

4. 準備学習（予習・復習等）の内容

◆効果的に学習を進めるために、予習復習を十分に行ってください。

◆予習：毎回30分～1時間 進行表を見て、学習内容のページの単語の意味や読み方を調べる。

じゅうようひょうげん ぶんぽう ごいれんしゅう せつめい れいぶん よ
重要表現、文法・語彙練習の説明と例文を読む。クイズの準備をする。

◆復習：毎回30分～1時間 その回に指示された宿題や文法プリントの記入。学習項目の整理。

◆教科書に対応した音声アプリも活用し、自律的に学習を行ってください。

5. 教科書

◆『生きた素材で学ぶ 新・中級から上級への日本語』鎌田修他著, The Japan Times

978-4-7890-1923-1 3,520円(税込)

◆『新・中級から上級への日本語 ワークブック』鎌田修監修, The Japan Times

978-4-7890-1540-0 1,980円(税込)

6. 参考書

必要があれば、授業の時に紹介します。

7. 課題に対するフィードバックの方法

クイズ、宿題、テスト等のフィードバックは、実施後に0h-o!meiji 上もしくは、授業中にフィードバックを行います。

8. 成績評価の方法

◆評価対象と割合

・復習テスト(3回) 60%

・平常点(小テスト、課題の提出、インタビュー活動、授業への取り組み) 40%

◆出席が2/3以上でなければ評価は出しません。

9. その他

◆授業では、日常的なコミュニケーション能力だけでなく、大学での勉学に必要な読解能力や語彙・表現能力などを重視します。

◆より高いレベルの日本語能力試験の受験・合格も目指しましょう。

◆この授業では、対面授業時には「フィールドワーク」を実施する可能性があります。東京都内の様々な場所を実際に訪れて見学、体験することを通して、より深く日本や日本語を理解しましょう。そのための事前準備にも積極的に取り組んでください。

科目番号	(JE) LAN981J
科目名	日本語6 (読解)
担当者	大政 美南
単位数	1単位
授業数	週1回

1. 授業の概要・到達目標

【概要】

中級後半の学生を対象に、文章を読むときのストラテジーを使って読む練習をする。コントロールの少ない文章だけでなく、コントロールのない文章も読む。題材は、自分の専門や興味・関心のあるテキスト、社会的な話題について書かれたテキストである。授業では、一般的・社会的な話題について書かれたテキストの理解を深め、対話をする活動も行う。さらに、自分の興味・関心のある記事を読み、クラス内で共有する活動も行う。

【到達目標】

- ・初級～中級前半の漢字・語彙・文法を復習しながら、読むときのストラテジーを身に付けることで、CEFR B1.2相当の読解力を目指す。
- ・自分の専門や興味・関心のあるテキスト、社会的な話題のテキストを読んで、テキストのテーマを理解し、必要な情報を見つけることができる。
- ・テキストの議論の流れを理解し、書かれた他者の意見を掴むことができる。また、それに対して、自分の意見を表明することができる。

2. 授業内容

第1回：a. イントロダクション（授業の説明・スケジュール・レベルチェック）

b. 第1課 語のまとまりをとらえましょう

第2課 「する／される」の関係を掴みましょう

宿題 発展問題①②③、文づくり練習

第2回：第3課 文の構造をとらえましょう

①新聞記事の見出しを読む

宿題 発展問題①②、文づくり練習

第3回：第4課 前件と後件の関係をつかみましょう

②新聞記事の見出しを読むⅡ

宿題 発展問題①②、文づくり練習

第4回：第1部（1課～4課）のまとめクイズ

第5課 「これ」「それ」が指すものを考えましょう

③新聞記事を読む

宿題 発展問題①②、文づくり練習

第5回：第6課 省略されているものが何か考えましょう

④ポスターを読む

宿題 発展問題①②、文づくり練習

第6回：第7課 関連のある言葉を探しましょう

⑤データを読む

宿題 発展問題①、文づくり練習

第7回：第2部（5課～7課）のまとめクイズ

第8課 文末に注目して筆者の意見を見抜きましょう

⑥ポスターを読むⅡ

宿題 発展問題①、文づくり練習

第8回：第9課 筆者の立場を見分けましょう

⑦新聞記事を読むⅡ

宿題 発展問題①、文づくり練習

第9回：第10課 大切なことを伝えるサインをつかみましょう

⑧ポスターを読むⅢ

宿題 発展問題①、文づくり練習

第10回：第11課 目印を使って内容を整理しましょう

⑨新聞記事を読むⅢ

宿題 発展問題①、文づくり練習

第11回：第3部（8課～11課）のまとめクイズ

第12課 内容を素早く理解しましょう

第13課 文章の話題を見抜きましょう

宿題 発展問題①②、文づくり練習

第12回：第14課 ストーリーを上手に読みましょう

宿題 発展問題①、文づくり練習

第13回：第15課 読み間違いを見つけましょう

⑩新聞記事を読むⅣ

宿題 発展問題①、文づくり練習

第14回：第4部（12課～15課）のまとめクイズ

自分の関心のある記事について発表

まとめの活動

3. 履修上の注意

- ・ プレイスメント試験の結果、日本語6のレベルにプレイスされている学生が履修できます。
- ・ 読解が中心ですが、書かれた内容についてペアやグループでディスカッションもします。また、自分が読んだ記事について発表する活動も行います。
- ・ 30分以上の遅刻、早退は欠席とします。
- ・ 毎回課題を授業時に配布（またはOh-o! Meiji にアップ）するので、期限までに提出してください。

4. 準備学習（予習・復習等）の内容

復習を大事にしてください。（目安：1時間半から2時間程度）

- ① 授業で学んだストラテジーを意識して、発展問題を解くようにしてください。
- ② テキストの中に出てくる重要な文法表現を使った文づくりの練習課題が毎週あります。

5. 教科書

『留学生のための読解トレーニング—読む力がアップする15のポイント—』石黒圭編著、(凡人社)、2019年

ISBN 978-4-89358-780-0

6. 参考書

※『対話を通して学ぶ「社会」と「ことば」民主的シティズンシップ』、名嶋義直・野呂香代子・三輪聖、(凡人社)、2023年からも適宜抜粋して配布する。

7. 課題に対するフィードバックの方法

各課題のフィードバックは、実施後、授業内もしくは Oh-o! Meiji 上で行います。

8. 成績評価の方法

- ・課題30%
- ・まとめクイズ（4回）30%
- ・活動10%（第14回の発表）
- ・授業への取り組み（参加度、ディスカッションなど）30%

※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

9. その他

- ・授業のスケジュールおよび内容は、履修学生の人数、レベル、理解、興味関心などにより変わることがあります。
- ・遅刻・欠席したときは、自分で次のクラスまで何をすべきかを確認し、準備して出席してください。
- ・この授業では、「日本語（総合）」の授業と合わせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語6 (口頭表現)
担当者	梅津 聖子
単位数	1単位
授業数	週1回
<p>1. 授業の概要・到達目標</p> <p>【概要】</p> <p>この授業では、自分の関心のある身近な話題や、専門分野・社会的な話題をテーマにグループで話し合い、それをもとに個人またはグループでショートプレゼンテーションを行います。また、日本人学生に参加してもらい、インタビューや質疑応答などを行います。その他、授業の最初に発音練習やメモを見て話す練習などを行います。レベルはCEFRのB1.2相当で、その中でも特に高いレベルの日本語力を目指します。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのある談話で、要点をおさえた発表をすることができる。 ・他者の発表について主体的に意見や考えをもち、それを話すことができる。 ・発表や、やりとりをすることに自信がもてる。 	
<p>2. 授業内容</p> <p>第1回：イントロダクション、テーマ1「身近なもの紹介」準備</p> <p>第2回：テーマ1「身近なもの紹介」発表</p> <p>第3回：テーマ2「映画レビュー」準備</p> <p>第4回：テーマ2「映画レビュー」発表</p> <p>第5回：テーマ3「日本人学生インタビュー」インタビュー準備</p> <p>第6回：テーマ3「日本人学生インタビュー」インタビュー</p> <p>第7回：テーマ3「日本人学生インタビュー」発表練習、質疑応答準備</p> <p>第8回：テーマ3「日本人学生インタビュー」発表、質疑応答</p> <p>第9回：テーマ4「CM分析」準備</p> <p>第10回：テーマ4「CM分析」発表</p> <p>第11回：テーマ5「訪日外国人向けツアー企画」準備1</p> <p>第12回：テーマ5「訪日外国人向けツアー企画」ディスカッション</p> <p>第13回：テーマ5「訪日外国人向けツアー企画」発表練習、質疑応答準備</p> <p>第14回：テーマ5「訪日外国人向けツアー企画」発表、振り返り</p>	
<p>3. 履修上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレイスメント試験の結果、日本語6のレベルにプレイスされている学生が履修できます。 ・グループでの話し合いや発表を中心に授業を進めるので、積極的な参加を期待します。 ・日本人学生が複数回ゲストとして参加します。 ・自分の発表をスマートフォンなどで録画して、振り返る課題を課します。 	
<p>4. 準備学習（予習・復習等）の内容</p> <p>次回の準備のための課題と、発話を振り返る課題を出します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備：インタビューやスピーチができるように、原稿やスライドを準備し、話す練習をします。 ・振り返り：発表時の動画を見て、振り返りシートを書きます。 	
<p>5. 教科書</p> <p>教科書はありません。ハンドアウトを配布します。</p>	

6. 参考書

『伝わる発音が身につく！日本語話し方トレーニング 中・上級レベル』（アスク）中川千恵子ほか

7. 課題に対するフィードバックの方法

各発表について、授業内でフィードバックを行い、教師からルーブリック評価票を渡します。

8. 成績評価の方法

評価項目と割合は以下の通りです。

○発表回数 (50%)

全5回の発表のうち、発表をした回数と振り返りシートの提出回数から算出します。

○発表内容 (50%)

主に次のA～Eの要素から評価し、最終的に全発表の平均から算出します。

A. 内容

B. 構成・流れ

C. ことば

D. 発音・なめらかさ

E. 身体動作（表情、目線、手振り）

※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

9. その他

・授業の読芸や内容、発表形式等は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。

・この授業では「日本語6（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語6 (文章表現)
担当者	許 燕
単位数	1単位
授業数	週1回

1. 授業の概要・到達目標

【授業の概要】

この授業は、中級後半 (CEFR の B1.2相当)、中でも特に高いレベルの書く力の向上を目指す。

授業では、まず他者紹介文や大学教員へのメールなどの実用文作成を通して、書き言葉として適切な表現・文型・語彙の運用力を養う。

次に、実体験をもとにした文章を新聞社に投稿する活動に取り組み、日本語で文章を書くことへの慣れを促すとともに、読み手を意識した文章表現力を高める。

最終的には、一般的・社会的なテーマや自身の専門分野に関するテーマを取り上げ、論理的な構成と段落構造を意識したまとまりのある1000字程度の小論文を書きあげる。

【到達目標】

- 人の記憶に残る自己紹介文、人に伝わる他者紹介文が書けるようになる。
- 大学の教員に、要件に応じたメールが書けるようになる。
- 最も伝えたい実体験を330字～500字程度にまとめ、新聞に投稿できるようになる。
- 800～1200字程度の論理的な文章が書けるようになる。

2. 授業内容

第1週：イントロダクション&自己・他者紹介

第2週：メールの書き方 (ピアラーディング)

第3週：新聞投稿①テーマ候補

第4週：新聞投稿②第1稿 (ピアラーディング)

第5週：新聞投稿③第2稿 (ピアラーディング)

第6週：新聞投稿④投稿/ディスカッション

第7週：書き言葉&記号&wordの書式

第8週：小論文①小論文の構成

第9週：小論文②テーマ検討/資料収集

第10週：小論文③アウトラインの検討

第11週：小論文④第1稿

第12週：小論文⑤第1稿 (ピアラーディング)

第13週：小論文⑥第2稿 (ピアラーディング)

第14週：小論文⑦最終稿/振り返り

3. 履修上の注意

- この授業は、プレイスメントテストの結果、日本語6レベルにプレイスされた学生のみ履修可。
- この授業ではほぼ毎週書く作業があるため、必ずノートパソコンを持参すること。
- 事前に、Microsoft365 (Office) 利用マニュアルより、Word や PowerPoint 等をオフラインで使えるようにダウンロードしておくこと。
- 以下の図書館のHPより、「オンライン情報源」が利用できるように事前にログインの可否を確認しておくこと。

<https://www.meiji.ac.jp/library/index.html>

4. 準備学習（予習・復習等）の内容

ほぼ毎週、授業で取りあげたテーマについて書く課題がある。

※ 課題の締め切りは厳守すること。締め切りに遅れて提出した課題の成績は50%とする。

5. 教科書

教員が作成したレジュメを配布する。

6. 参考書

必要に応じて授業で適宜紹介する。

7. 課題に対するフィードバックの方法

Word ファイルを用いた課題は、ファイルにコメントに記入し、Oh-o! Meiji 経由で返却する。

その他 Oh-o! Meiji のシステムを利用して、あるいは、授業中にフィードバックを行う。

8. 成績評価の方法

(1) 自己・他者紹介 & メール：20%

(2) 新聞投稿：30%

(3) 小論文：40%

(4) 貢献度：10%

※ この授業は、評価を得るために2/3以上の出席が必要である。

9. その他

(1) この授業は、「日本語6（総合）」の授業と合わせて、フィールドワークやその準備をする可能性がある。より深く日本や日本語を理解する貴重な機会として、積極的に取り組むこと。

(2) 授業の進行および内容は、履修者の人数、理解度、興味・関心等により一部変更する場合がある。

にほんご
日本語C

だいがくいんせい たいしょう
(大学院生のみ対象)

Japanese C

(Subjects for Graduate School Students)

科目ナンバー	(JE) LAN986J
科目名	日本語C (中級) [M]
担当者	細川 美紀
単位数	1単位
授業数	週1回

1. 授業の概要・到達目標

【授業の概要】

この授業では大学院での研究に必要な中級レベルの日本語力や、就職活動や卒業後のキャリアでも活用できる日本語運用力を身につけることが目標です。

そのために、授業ではプレゼンテーションをし、小論文やミニレポート等を書く練習をします。

また、様々なビジネス場面での適切な話し方を、ロールプレイ等を通して練習します。

授業はオンラインで行います。

【到達目標】

・教科書や資料を参考にしながら、適切な語彙や表現を用いて小論文やレポートを書いたり、プレゼンテーションをしたりできる。

・就職活動や仕事の場面で適切な日本語表現を学び、それを使って話すことができる。

2. 授業内容

【授業スケジュール】

第1回 イントロダクション、日本語力のレベルチェック

第2回 メールの書き方

第3回 アカデミック・ライティング①文末・文中のアカデミック・スタイル、指示表現・接続表現

第4回 アカデミック・ライティング②副詞のアカデミック・スタイル、主張の表現・文末のパリエーション

第5回 アカデミック・ライティング③名詞・動詞・い形容詞・な形容詞のアカデミック・スタイル

第6回 アカデミック・ライティング④視点・呼応の表現、プレゼンテーション準備①

第7回 アカデミック・ライティング⑤助詞・引用の表現、プレゼンテーション準備②

第8回 アカデミック・ライティング⑥参考文献の示し方、レポートの書き方、プレゼンテーション準備③

第9回 プレゼンテーション

第10回 敬語の復習、ビジネス日本語①紹介する

第11回 ビジネス日本語②あいさつ

第12回 ビジネス日本語③電話をかける・受ける

第13回 ビジネス日本語④頼む・断る

第14回 ビジネス日本語⑤ロールプレイの復習、コースのふりかえり

・授業の詳しいスケジュールは、第1回目のイントロダクションで説明します。

・授業内でペアワーク・グループワークを行います。積極的に参加してください。

・授業のスケジュールは、変更する場合があります。

3. 履修上の注意

・この科目はプレースメントテストの結果、日本語4/5/6レベルと判定された大学院生が履修できます。

・この授業を取りたい人は、必ず1回目の授業に参加してください。

・オンライン授業では、通信が安定した静かな環境で、カメラとマイクをオンにできるようにして参加してください。

・ビジネス日本語のロールプレイは、内容によってはペアで練習することがあります。

4. 準備学習（予習・復習等）の内容

- ・予習：毎回1～2時間、次の回の授業範囲の単語の意味や漢字の読み方を確認し、学習内容を確認すること。
- ・復習：毎回30分～1時間、その回で学習した内容の復習、学習項目の整理すること。
- ・授業が理解できるよう、必ず、十分予習をして参加してください。

5. 教科書

授業の前に教材をOh-o!Meijiで配布します。

6. 参考書

- ・『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』、(ask)、伊集院郁子、高野愛子
- ・『にほんごで働く！ビジネス日本語30時間』、(スリーエーネットワーク)、宮崎道子、郷司幸子
- ・『20の場面で学ぶ敬語コミュニケーション—気持ち伝わる中級からの日本語待遇表現』、(ジャパントイムズ)、アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター

7. 課題に対するフィードバックの方法

授業時間内、または、Oh-o!Meiji上で共有してフィードバックを行います。

8. 成績評価の方法

レポート/小論文30%、プレゼンテーション20%、ビジネス日本語課題（提出物・ロールプレイ等）40%、平常点（クラス参加度等）10%

* この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

9. その他

- ・授業のスケジュールおよび内容は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。
- ・大学院の研究や授業のスケジュールをよく確認して履修してください。
- ・授業では積極的に発言したり、応答したりしてください。